

通し番号	5128
------	------

分類番号	R04-24-14-1
------	-------------

ヤマトイモの親イモを倉庫で保管し、植え付け直前に切断した種イモを植え付けることができます	
[要約] ヤマトイモの親イモを倉庫内に保管し、植え付け直前に切断して種イモを調製し、4月下旬に植え付けると、催芽処理なしで、慣行と同程度の良品が収穫できる。慣行の冬季に切断し、土中に埋設して保管する方法に比べて、種イモが腐敗するリスクを回避でき、土中に埋設する労力も省ける。	
神奈川県農業技術センター・北相地区事務所	連絡先 042-685-0203

[背景・ねらい]

相模原市内のヤマトイモの慣行栽培は、2月までに親イモを切断し、植え付けまで土中に埋設して保管する方法（冬季切断）であるが、土中保管中に切断した種イモの腐敗と、埋設に労力を要する。そこで、親イモを倉庫内で保管し、植え付け直前に切断して種イモを調整し、植え付ける方法（春季切断）を検討する。

[成果の内容・特徴]

- 12月に収穫した親イモをコンテナに詰めて倉庫内に保管し、植え付け直前に切断して種イモを調製し、4月下旬に植え付けると慣行と同程度の良品が収穫できる（表1）。
- 春季切断する場合、4月下旬の植え付けが適しており、5月中旬以降の植え付けは、イモ重が小さくなり、良品収量は低下する（表1）。
- 植え付け後の出芽を促すために、冬季に切断して種イモを調製することや親イモ、種イモを土中に埋設して保管する必要はなく、土中に埋設する作業を省くことができる（表1および図1）。

[成果の活用面・留意点]

- 親イモは、コンテナ(W×D×H=52cm×37cm×31cm・側面穴あきなど)に入れ、倉庫内に複数を積んで保管する。
- コンテナ内の親イモは3～4層程度とし、通気性を確保するようにする。
- 保管場所は、凍結しない場所を選ぶなど注意が必要である。
- 親イモは収穫後、傷んだイモは取り除き、ほ場または乾燥したハウス内で数日風乾して充分湿気を除いてから保管する。

[具体的データ]

表1 親イモの切断時期及び種イモの植え付け時期が成イモの形状・収量等に及ぼす影響（2022年度）

試験区	形状(mm)			1イモ重 (g)	収量(kg/m ²)		着イモ数 (個/株)
	縦幅	横幅	厚み		全体	良品 ^x	
春切断4月下旬植え	220±79	78±36	46±11	388a ^z	1.72	1.11	1.3 ab ^z
春切断5月中旬植え	171±55	58±18	45±9	243b	1.66	1.02	1.8 a
冬切断4月下旬植え	226±79	80±36	46±10	407a	1.58	1.15	1.1 b
冬切断5月中旬植え	233±75	73±23	51±11	436a	1.57	1.09	1.1 b
有意差 ^y					ns	ns	

平均±標準偏差

^z異符号間に有意差あり(Tukey-Kramer, P<0.01, n=95~160)

^yns: Bonfferoni検定(P<0.05, n=3)により有意差なし

^x160g以上、等級A~C(D:不良を含まない)のもの

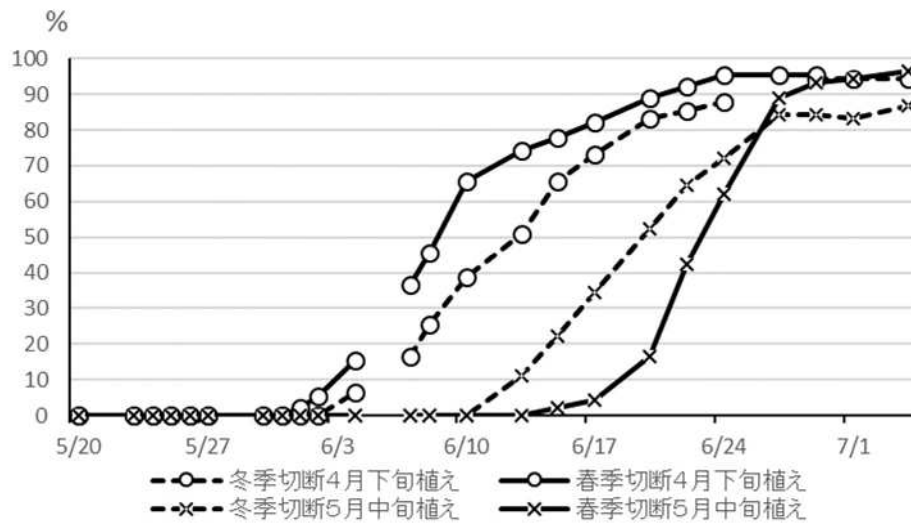


図1 出芽率の推移（2022年度）

[資料名] 令和4年度試験研究成績書
 [研究課題名] ヤマトイモ種芋の春季切断処理の検討
 [研究期間] 2016(平成28)年度~2022(令和4)年度
 [研究者担当名] 河田隆弘、上原義彦、武田 甲、渡辺 茂
 [協力・分担関係] なし